

# 令和元年度和歌山県文化功労賞

はやし 林  
まさ ひこ 雅彦

住 所 千葉県千葉市  
出 身 地 東京都台東区  
生年月日 昭和19年4月20日

## ◎ 業績及び経歴

昭和19年東京都で生まれ、山梨県で育つ。昭和42年山梨大学教育学部卒業後、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。昭和49年に同大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。その後、高等学校や大学で教鞭を執り、昭和58年には明治大学教授に就任した。

絵解きや説話文学、説話画に関する研究を専門としており、『日本の絵解き—資料と研究』、『絵解きの東漸』、『日本における民衆と宗教』、など多数の著書を世に送り出してきた。その研究の原点になったのが卒業論文でとりあげた熊野に関連した絵巻「阿弥陀の御ゑんき」である。以来、氏は熊野に魅せられ毎年のように当地を訪れ、研究を深化させていった。

特に、熊野信仰の全国各地への勧進に一役かった「熊野比丘尼（くまのびくに）」に関する研究を行い、その成果として多数の図書、論文を発表し、全国各地への展開や庶民への布教活動等の熊野信仰の構造解明に寄与した。この他、高野山の説話文学や「道成寺縁起絵巻」の研究も知られ、本県の宗教文学、宗教画研究に大きく貢献した。

一方で、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を契機に熊野のもつ豊かな自然・歴史・文化を見直し発信することをめざした国際熊野学会の設立にも携わり、長年代表委員として、熊野地域における学問の発展に大きく寄与した。

また、明治大学と新宮市の連携講座「熊野学フォーラム」の開催にも携わり、熊野の魅力を余すことなく発信した。

氏はこれまで、古より癒やしの地・蘇生の地として日本人の信仰を集めてきた熊野地域固有の自然・歴史・文化などの学際的・総合的な研究を進め、熊野のもつ普遍的な魅力を国内外に発信してきた。その功績は誠に多大である。



## ■ 現 在

- ・ 明治大学名誉教授
- ・ 中央大学校日本研究所「日本研究」編集委員
- ・ 国際熊野学会顧問

## ◆ 主な表彰歴等

- 昭和55年 第6回日本古典文学会賞
- 平成20年 新宮市市政功労者特別表彰